

中国・大連通信

(北九州市大連事務所活動報告)

第6回中国国際消費品博覧会レポート：海南島の最新トレンドについて

ポイント

- 海南島の魅力と役割：観光地から自由貿易港への変貌
- 現地で感じた中国の消費活動のリアル
- 日本企業にとってのチャンスと同時に顕在化するリスクとは

Topic 01 海南島自由貿易港施策がもたらすビジネスチャンス



◇海南島は中国最南端に位置する「中国のハワイ」とも呼ばれる美しい海や温暖な気候が人気の中国有数の観光地です。しかし、近年は「自由貿易港」としても大きな注目を集めていることをご存じでしょうか。

◇海南島では一部商品の関税優遇措置、規制緩和や税制優遇を通じた海外企業の誘致などを推し進めています。上記施策を通じ、海南島には国内の富裕層が集まっており、日本企業にとっては高付加価値商品の展開をする上で大きなビジネスチャンスが広がっています。

◇今回、私たちが参加した「中国国際消費品博覧会」は中国最大級の消費材見本市として海南島で開催される国際展示会であり、世界各国及び中国国内の有名ブランドが出展し、中国市場向けの最新商品・消費トレンドを発信しています。主催者によると、会期中に30万人以上が来場するなど非常に注目度の高い博覧会となっております。

Topic 02 現地で感じた中国の消費活動のリアル

◇国際消費品博覧会では宮城県大連事務所が、県内の事業者さまの工芸品やアパレル商品などの展示・販売を支援されていました。中でも、着物生地を活用したアロハシャツは来場者の関心を集め、日本らしいデザインや質の高さに注目されていました。昨今の日中関係下でも、日本商品の人気は衰えていないことが印象的でした。

◇本展覧会は約1週間の開催のうち、前半がBtoB、後半がBtoCとなっております。BtoBパートでは、興味を持った現地バイヤーとすぐに商談ができるという中国ならではのスピード感があります。BtoCパートでは、直に消費者の反応が見ることができ、日本企業にとっても重要なテストマーケティングの場として活用が可能です。



Topic 03 日本企業にとってのチャンスと同時に顕在化するリスクとは

◇海南島は富裕層が多く集まる地区である一方、上海ほど日本商品が流通しておらず、例えば日用品や調味料などの食品関連を取扱う事業者さまは、特に大きなビジネスチャンスがあると考えられます。海南島での各種優遇政策により、海南島から中国全土に販路拡大できるチャンスもあります。

◇一方で中国市場のトレンドは急速に変化を続けております。中国国内企業の技術力も向上し、従前のような「日本商品だから売れる」という時代ではなくなりつつあります。地政学リスクもあり、都度柔軟な対応が必要になる中国市場ですが魅力は大きいです。本稿を見て関心がある方がいらっしゃいましたら、是非お気軽に当事務所までご連絡ください。



本稿の担当 = 北九州市大連事務所 上善 (fusuzhang@kitakyusyu-dl.com)

本稿に対するご感想、中国に関するお問合せなど何かありましたらぜひご連絡ください。